

2019年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（養護保健学科）

| No | 授業科目 | 単位数 | 授業経験を活かした当該授業への展開について |
|----|--------------------|-----|---|
| 1 | 健康科学 | 1 | 健康を守り、保健医療や環境や社会のよりよい関係を築き、さらにそれらをよりよく変えていくうえで必要になってくる知識やスキルと、生物医学的な見方・考え方に片寄らない様々な見方・考え方や見識というべきクリティカル（科学的批判的）な見方・考え方を学ぶことを目的とする。実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 2 | 保健学概論 | 2 | 我が国における生（出生、成長、結婚、子育て、生活習慣）、老（成熟、加齢）、病（健康障がい、リハビリ、介護）、死（終末期医療、看取り）を支える社会・環境、さらには考え方等について学びます。各テーマについて、現在までの知見を理解し、現状を把握し、自分自身の問題として考え、日常生活を送る糧となるよう、グループワーク形式で討議を行います。実務経験あり・・・担当教員は、大学歯学部附属病院にて歯科医師として歯科診療業務に従事するとともに、府健康医療部及び保健所において歯科医師として衛生行政、保健医療業務及び公衆衛生業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| 3 | 解剖学 | 2 | 解剖学の概念を理解した後、人体の基本構造を学び、さらに組織、器官及びこれらの相互の関わりを、系統立てて学習します。人体の構造を自分の体におきかえて理解することにより、解剖学用語を丸暗記する解剖学から脱却し、人体の構造や働きが理にかなっており、素晴らしいと感動することができます。実務経験あり・・・担当教員は、大学歯学部附属病院にて歯科医師として歯科診療業務に従事するとともに、府健康医療部及び保健所において歯科医師として衛生行政、保健医療業務及び公衆衛生業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| 4 | 生理学 | 2 | 解剖学で学ぶ知識と関係づけて人体の機能を理解することにより、専門用語を丸暗記する生理学から脱却し、人体の構造や働きが理にかなっており、素晴らしいと感動することができます。実務経験あり・・・担当教員は、大学歯学部附属病院にて歯科医師として歯科診療業務に従事するとともに、府健康医療部及び保健所において歯科医師として衛生行政、保健医療業務及び公衆衛生業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| 5 | 微生物学（免疫学を含む） | 2 | 微生物は自然界に広く生息しており、その種類はウイルスから原虫まで多岐にわたる。ヒトは微生物との相互作用なくしては生存し得ない。しかし反面、ごく限られた微生物のみがヒトに対して病原性を発揮する。それゆえ、病原微生物についてその性状、病原因子を疾患との関わりから学ぶとともに、宿主側の感染防御機構たる免疫学について学習する。これらを通して、病因論的視点から感染症を理解する。実務経験あり・・・担当教員は、大学附属病院において歯科医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| 6 | 衛生学・公衆衛生学（予防医学を含む） | 2 | 児童生徒の心身の健康問題の早期発見・早期対応を図るとともに、感染症や食中毒などの集団発生状況を把握し、感染の拡大防止や予防を図るため、疫学について理解を深めるとともに公衆衛生学的手法を身につける。住民を取り巻く環境や社会に関する多岐にわたる領域を学び、心と体の健康との関連性を包括的に理解できるよう、基礎的な知識を学びます。実務経験あり・・・担当教員は、府健康医療部及び府保健所において歯科医師として衛生行政、福祉行政及び公衆衛生業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| 7 | 学校保健(学校安全を含む) | 2 | 学校保健活動を推進するために、保健管理・保健教育・組織活動についての基礎的な理論を系統的に学習し、現代的な健康課題に適切に対応していくための知識や技能について学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、小・中学校において養護教諭とし業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 8 | 養護概論 | 2 | 養護についての基礎的な概念と養護教諭の職務について受講する。また、本講義では養護教諭の職務である保健室経営・保健教育・保健管理・保健組織活動の分野において、学校現場での実践に伴う内容を踏まえて述べる。これらを受講することで、教職において養護教諭の職務が円滑に活かされることを目的とする。講義の中で、プレゼンテーションのソフトを利用する講義の進み方、ロールプレイングやブレインストーミングなどの参加型授業の活用方法、グループディスカッションの取り入れかたなど、学校現場の課題に対応できる授業。実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 9 | 養護活動論Ⅰ | 2 | 学校保健安全法に位置づけられる健康観察・健康相談・保健指導、中央教育審議会で作成が望まれている保健室経営計画、保健体育審議会答申で設置が促進されている学校保健委員会等について基礎知識を習得し、計画作成やグループワーク、発表を通して実践的に学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、小・中学校において養護教諭とし業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 10 | 養護活動論Ⅱ | 2 | 多様化・深刻化している子どもの現代的な健康課題への対応について考える。学校現場での場面を想定しながら、養護教諭として、健康教育や組織活動をどのように実施していくべきかグループ活動や発表を通じて、専門性を生かした知識・技術・指導力を身に付ける。（養3-1）実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 11 | 救急処置Ⅰ | 2 | 養護教諭として正確な知識と的確な判断力を持ち、多様な傷病や症状に対して適切に対応ができるよう、バイタルサインを中心とした基礎的知識及び基本的な応急手当と救急処置の方法を中心として学習を進める。実務経験あり・・・担当教員は病院において看護師として業務に従事した経験があり、その経験を活かし上記授業を行う。 |
| 12 | 救急処置Ⅱ | 2 | 日常的に訴えの多い症状や緊急性の高い外科的・内科的傷病について、注意すべきポイントとピットフォール、重症度・緊急度の判断手順、適切な処置方法等を実践的に学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、小・中学校において養護教諭とし業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |

2019年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（養護保健学科）

| No | 授業科目 | 単位数 | 授業経験を活かした当該授業への展開について |
|----|---------|-----|--|
| 13 | 健康相談活動論 | 2 | 健康相談活動の基礎的な概念と実践の在り方について受講する。また、本講義では養護教諭の職務の一つである保健組織活動の分野において、学校現場での実践に伴う内容を踏まえて述べる。これらを受講することで、教職において養護教諭の職務が円滑に活かされることを目的とする。講義の中で、プレゼンテーションのソフトを利用する講義の進み方、ロールプレイングやブレインストーミングなどの参加型授業の活用方法、グループディスカッションの取り入れかたなど、学校現場の課題に対応できる授業実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 14 | 看護概論 | 2 | 看護とは何かをイメージでき、看護の対象はどのような人々か、またどのような場において看護が必要とされるのかを考える。並びに、ライフステージにおける身体的・精神的・社会的特徴と健康管理上の課題を理解し、健康維持・増進・疾病の早期発見のために日常生活に対する考え方を学ぶ。そして、発達の最終段階である「死と向き合う」学習について討議し、考察し感性を深めていきたい。実務経験あり・・・担当教員は病院において看護師として業務に従事した経験があり、その経験を活かし上記授業を行う。 |
| 15 | 看護技術Ⅰ | 2 | （毛利）養護に必要な健康生活を支える上で必要な基本的な看護学の、知識・技術・態度を習得するとともに、演習を通して、健康上必要な日常生活のケアの方法をエビデンスに基づいて実践できる力を身に付けることを目的とする。実務経験あり・・・担当教員は病院において看護師として業務に従事した経験があり、その経験を活かし上記授業を行う。（久保）養護教諭の職務の一つである救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理活動について知識理解するとともに、技術を習得し、子どもの健康づくりを効果的に推進するための実践力を身に付けることを目的とする。実務経験あり・・・担当教員は、小・中学校において養護教諭とし業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 16 | 看護技術Ⅱ | 2 | ①保健管理活動に関する基礎事項について理解し、実施することができる。①イタルサインが測定でき、アセスメントを行い異常の早期発見ができる。②生理的欲求（食事・睡眠・清潔・衣生活）について理解でき、安全安楽（活動・休息・電法）についてアセスメントし必要な援助を述べる。実務経験あり・・・担当教員は病院において看護師として業務に従事した経験があり、その経験を活かし上記授業を行う。 |
| 17 | 看護技術Ⅲ | 1 | 看護技術Ⅰ・Ⅱの概要ならびに看護臨床地実習での学びと共に学校管理下における必要な看護として、医療的ケア、応急処置、疾病を抱える児童生徒の支援について、演習、講義、ロールプレイをとおり、知識、技術、態度を身につける。実務経験あり・・・担当教員は病院において看護師として業務に従事した経験があり、その経験を活かし上記授業を行う。 |
| 18 | 学校環境衛生 | 1 | 学校環境衛生活動について理解し、「学校環境衛生基準」に示されている定期検査のうち、換気及び保温等、採光及び照明、騒音、水質、その他環境衛生に関する項目及び口腔内細菌観察について実習を行い、検査方法と判定基準、事後措置、保健教育への活用について学ぶ。実務経験あり・・・担当教員は、小・中学校において養護教諭とし業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 19 | 口腔衛生学 | 2 | 歯科医学・医療の概要を学び、歯・口腔の生理学的な機能を理解し、歯科疾患予防方法、口腔機能の育成と、現在取り組まれている施策及びその将来について学びます。現代の子ども達の歯科・口腔機能に関する特徴を踏まえた対応について学びます。学校歯科保健活動の実践について学びます。実務経験あり・・・担当教員は、大学歯学部附属病院にて歯科医師として歯科診療業務に従事するとともに、府健康医療部及び保健所において歯科医師として歯科保健行政、歯科保健医療業務及び歯科公衆衛生業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| 20 | 教師論 | 2 | 現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。また、教員の仕事と役割を理解し、使命感を持ち、チーム学校として組織的に職務に当たる資質を育成する。実務経験あり・・・担当教員は、小学校において、教諭及び校長として業務に従事したことがあり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 21 | 教育方法論 | 1 | 教育の目的・目標の実現には、学習内容を子どもの成長や発達に即して配列し、指導・支援する適切な教育方法（学習指導及び児童・生徒指導）が検討されなければならない。今、我が国の学校教育には、児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育むことが求められているが、それはとりもなおさず、これまでの教員の教育観・指導観を見直し、教育・指導の在り方を確立することでもある。本授業においては、我が国における、学力観、学習指導法、教育メディアの利用、授業研究の方法論等について考察するとともに、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）等今日的な教育方法について理解を深め、教員に求められる実践的指導力の基礎を培うことを目的とする。実務経験あり・・・担当教員は、小学校において、教諭及び校長として業務に従事したことがあり、その実務経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 22 | 保健科指導法 | 2 | 中学校の保健体育「保健分野」を中心に、教科の特性や目標について理解を深め、どのような教材で何を伝え、何を学ばせるかという学習内容や指導の方法、指導計画等について実践的に学習する。実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |

2019年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧（養護保健学科）

| No | 授業科目 | 単位数 | 授業経験を活かした当該授業への展開について |
|----|------------------------|-----|--|
| 23 | 道徳教育論 | 1 | 平成27年3月、教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申を踏まえ、「道徳の時間」を「特別の教科道徳」として新たに位置づける学習指導要領の一部改正がなされ、平成27年度からその趣旨を踏まえた取組が可能となった。小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から検定教科書が導入される。その背景には、社会の急速な発展に伴うライフスタイルの変化や人々の価値観の多様化、家庭や地域社会の教育力の低下、人間関係の希薄化、規範意識の低下、いじめ問題への対応の充実等があげられる。本授業においては、我が国における道徳教育の変遷、教育基本法等の改正と道徳教育の関連、「特別の教科道徳」を要とした学校における道徳教育のあり方等について基礎的・基本的理解を図り、教員としての倫理観・使命感を培い資質・能力の向上を目指すとともに、「特別の教科道徳」の指導方法の工夫について学ぶことを目的とする。実務経験あり・・・担当教員は、小学校において、教諭及び校長として業務に従事したことがあり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。 |
| 24 | 特別活動論 | 1 | 特別活動の目標は、「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方について考えを深め、自己を生かす能力を養う」ことにある。本授業においては、児童生徒の自主・自律の精神の涵養等の今日の課題の解決に向け、学習指導要領に示された特別活動の内容や指導上の留意点、特別活動の趣旨を踏まえた実践等について検討し、教員としての基礎的・基本的な理解を図ることを目的とする。実務経験あり・・・担当教員は、小学校において、教諭及び校長として業務に従事したことがあり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。 |
| 25 | 生徒指導・教育相談Ⅰ（カウンセリングを含む） | 2 | 現在、学校現場において児童生徒のとりまく現状と課題を考える。その上で、生徒指導の目的と内容、生徒理解、集団指導・個別指導、問題行動など、実践例の検討を加えながら、基本的考えを概説する。さらに、学校における教育相談の基礎的知識を理解し、課題を抱える子供たちの支援についてグループワークなどを通して、具体的な進め方や組織的な連携について指導する。実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 26 | 生徒指導・教育相談Ⅱ（進路指導を含む） | 2 | キャリア教育に関する理論について学ぶことを通して、社会に開かれた教育課程の理念のもとキャリア教育を教育課程に位置付けることの意義を理解するとともに、生涯学習の観点に立ったキャリア形成支援における学校教育の役割についての理解を深める。また、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育む進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付ける。実務経験あり・・・担当教員は、長年養護教諭として小学校に勤務、体育科の保健領域で保健学習も兼務した。その経験を活かし、上記の授業を行う。 |
| 27 | 教職実践演習（中学校） | 2 | これまでの教育実習等の学外実習を振り返り、自己評価・相互評価を行い、自己のキャリア発達の現状と課題を確認する。一人一人が自己の課題解決に向けて、事例研究やグループ討議、ワークショップ、プレゼンテーション等の場面を利用して発表を行う。また、学校や施設の見学研修を採り入れ、各自の教育研究テーマの資料を探るとともに、教員としての基礎的知識・技能を身に付け、教育実践力を形成することを学習する。実践経験あり・・・担当教員は、小中一貫教育校において校長として、また、市教育委員会事務局での業務に従事したことがあり、その実務経験を活かして上記の授業を行う。 |
| 28 | 教職実践演習（養護教諭） | 2 | 5つの実践的能力の到達目標を設定して学生一人一人が自己評価・他者評価を行い、自己のキャリア発達の現状と課題を確認する。学生自身が自己の課題解決に向けて、学習した内容を基に、事例研究やグループ討議等を行い、教員としての資質向上を図り、実践力を身に付けていく。実務経験あり・・・担当教員は、小・中学校において養護教諭とし業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。 |
| 29 | キャリアデザイン | 2 | 本授業では各自のキャリアについて考えていきます。なぜ働くのか、就職活動や社会人のマナーを初めに学びます。次に自分の働き方や適性を考え、キャリアの一つである就職についての一般的な知識、実習でのコミュニケーションのとり方について講義・演習をおとして理解を深めることができます。実務経験あり・・・担当教員は、専門学校・短期大学において教員・キャリアコンサルタントとして、若年者の就職支援・キャリア形成支援に従事した経験があり、その実務経験を活かし上記の授業を行う。 |
| | | 52 | |